

## I. 調査方法

本調査は、滋賀県水産試験場による「昭和 44 年度琵琶湖沿岸帯調査」および「平成 7 年度琵琶湖沿岸帯調査」、「平成 14～15 年度琵琶湖沿岸帯調査」に準じ、調査地点、調査時期、調査方法を定め、調査項目を過去の調査よりも絞り込んで実施した。

### 1. 調査項目

調査項目は、水深別面積、底質、貝類および流向流速とし、底質については今回から全硫化物量を測定項目に加え、過去の調査で実施した水生植物と貝類以外の底生生物の調査は実施しなかった。

### 2. 調査場所

琵琶湖沿岸線に沿って、4km 間隔に 55 基点を定め、各基点とも水深 1m 毎に水深 7m まで(水深 6m は除く)、各 6 地点を調査することとした。それに加えて主なシジミ漁場の 10 か所の基点については、水深 10m 地点も調査することとした。但し、水深が浅く測点がない地点や、急深となっており調査が困難な地点が存在するため、合計で 311 地点となった。なお、調査基点は、右図のとおりであり、各水深別地点の位置は付表 1 に示した。また、調査水域全体を次の 4 地区に大きく区分することとした。

湖東部：琵琶湖大橋東岸より余呉川河口に至る東部湖岸地区

湖西部：石田川河口より琵琶湖大橋西岸に至る西部湖岸地区

湖南部：琵琶湖大橋より瀬田川鉄橋に至る南部湖岸地区

湖北部：余呉川河口より石田川河口に至る北部湖岸地区

### 3. 調査時期

2021 年 7 月 15 日から 12 月 6 日までの 19 日間で現地調査を実施した。各調査基点の調査月日および調査時の気象・水象は付表 2 に示した。

### 4. 調査および調査結果とりまとめ人員

岡本晴夫（調査）、孝橋賢一（調査）、井戸本純一（調査および貝類・流向流速調査結果とりまとめ）、森田 尚（調査および底質調査結果とりまとめ）、鈴木隆夫（全体とりまとめ）。

なお、潜水調査業務は、別途(有)レークダイビングへ委託した。

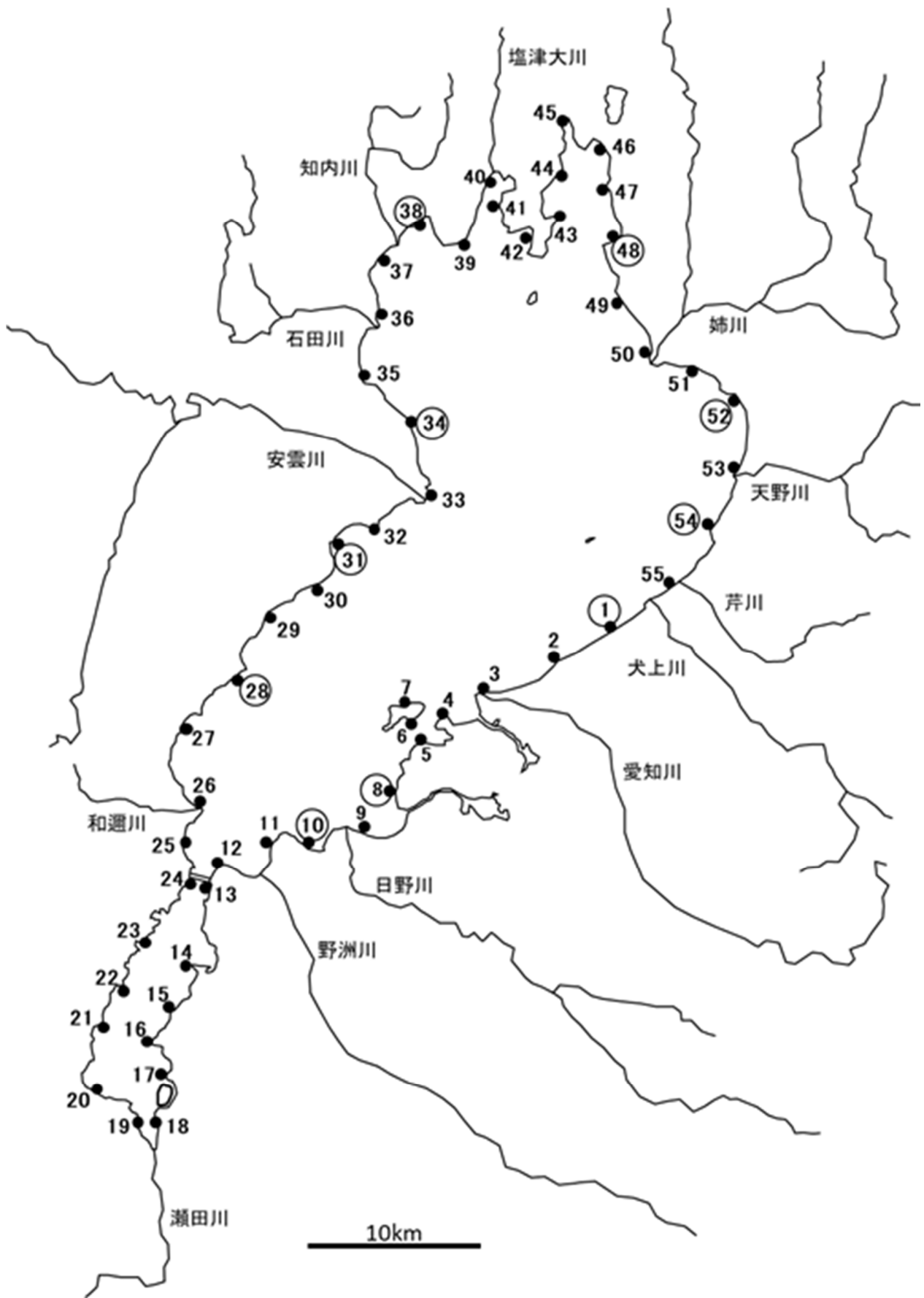


図 調査基点(○で囲んだ基点は、水深 10m 地点も調査)